

成績概要書（2013年1月作成）

研究課題：ながいも新品種候補「十勝4号」（723332、723301、400340）

担当部署：十勝農業試験場 研究部 地域技術グループ、十勝農業協同組合連合会、
帯広市川西農業協同組合、音更町農業協同組合

制度区分：受託（民間）、一般共同

研究期間：2005～2012年（平成17～24年）

1. 特性一覽

系統名	十勝4号			交配組合せ			音更選抜系統（ながいも）の突然変異系統	
特性	長所 1. 「音更選抜」より約20%多収である。						短所	
普及見込み面積	100ha							
試験年次 ¹	平成22～24年			平成23～24年				
調査地	十勝農試（芽室町）			帯広市		音更町		
品種・系統名 形質	十勝4号	音更選抜 （標準品種）	川西選抜 （比較品種）	十勝4号	音更選抜 （標準品種）	十勝4号	音更選抜 （標準品種）	
萌芽期（月/日）	6/18	6/18	6/18	6/9	6/9	6/17	6/18	
黄変期（月/日）	10/15	10/18	10/18	- ²	- ²	10/20	10/21	
不定芽の形成 ³	良	良	良					
草勢 ³	強	強	強					
分枝性 ³	中	中	中					
むかご着生 ³	多	多	多					
雌雄性 ³	雄株	雄株	雄株					
いも形状 ³	長楕円形	長楕円形	長楕円形					
貯蔵性 ³	中	中	中					
葉長（cm） ³	8.9	10.2	10.9					
葉幅（cm） ³	7.0	7.0	7.2					
葉長／葉幅 ³	1.28	1.44	1.52					
増殖性 ³	良	良	- ⁴					
規格内収量（kg/10a）	4,560	3,929	3,988	5,662	4,571	5,592	4,536	
標準比	116	100	102	124	100	123	100	
規格内率（%）	91.9	92.2	88.9	92.8	86.4	95.9	90.0	
多数本いも株率（%）	15.0	15.0	11.1	8.2	16.0	18.2	19.4	
全長（cm）	59	61	62	73	75	70	70	
調製長（cm）	41	42	43	51	51	44	46	
いも径（cm）	7.1	6.1	6.4	7.2	6.2	6.9	6.1	
平均1本重（g）	1,014	876	942	1,268	1,045	1,119	969	
乾物率（%）	16.2	15.8	16.0	13.5	13.5	14.2	13.1	
粘度（Pa・s）	3.4	3.2	3.3	2.8	2.8	2.9	2.5	
ヤマノイモえそモ ザイク病抵抗性	中	中	- ⁴					

¹ 十勝農試は平成22～24年の生産力検定試験（標植）の3か年の平均値。帯広市および音更町は平成23、24年の2か年、各2か所の平均値。² 降霜のため調査不能。³ 十勝農試のみ調査実施。⁴ 調査実施せず。

2. 特記すべき特徴

「十勝4号」は、いも径が太く平均一本重が優ることから、一般に栽培されているながいもに比べ明らかに収量が多い。

3. 優良品種に採用しようとする理由

北海道のながいもは、作付面積 1,890ha（平成 22 年）と全国の約 25 %程度であるが、面積あたりの収量が多いことから収穫量では全国の 46 %を占め、青森県とともに全国で 1、2 を競う産地である。ながいもは収益性が高く、また、近年は十勝産ながいもが海外に輸出されるなどブランド化も進み、特に十勝の畑作経営において重要な作物の 1 つとなっている。しかし、温度要求性の高いながいもは冷涼な北海道においては気象による影響を受けやすく、収量の高位安定化が強く求められている。

「十勝4号」は、十勝農試と十勝農協連に加え、主産地である帯広市川西・音更町両農協の四者が共同して育成した系統であり、生産力検定試験および地域適応性検定試験の結果、現在作付けされている「十勝選抜系統」（川西選抜系統、音更選抜系統）に比べ、安定して 20%程度多収となることが示された。

「十勝4号」は、いも径が「十勝選抜系統」より太いことにより多収性を示す系統であるが、栽培特性、内部品質、貯蔵性等の主要形質について「十勝選抜系統」と大きな差はみられない。このため、ながいもの主産地である十勝地域において現在栽培されている「十勝選抜系統」から多収系統「十勝4号」へ順次置き換わる可能性が高く、作付けの拡大が期待できる。

4. 普及見込み地帯

十勝及びこれに準ずる地域

5. 保有種苗量

種いも 176kg

6. 普及見込み面積

100ha

7. 栽培上の注意